

2023年度 大学院生を対象とした、 国際保健・輸入感染症実践トレーニング

【目的】 「感染症に強いまちづくり」を実現するために、感染症や国際保健の知識を有する医療関係者等の育成を行う。

【研修先・期間】 タイ国（4日間）

【研修内容】 タイ国における医療制度と国際保健を学ぶ。センター構成員が引率し、参加希望者（公募）が、耐性菌に対する感染対策を中心に、「手指消毒」や「適切な個人防護具の使用」など感染対策のポイントや「抗菌薬適正使用」についてなど、タイにおける感染対策の実情を学ぶ。

大学院生を対象とした、 国際保健・輸入感染症実践トレーニング

【具体的な研修内容】

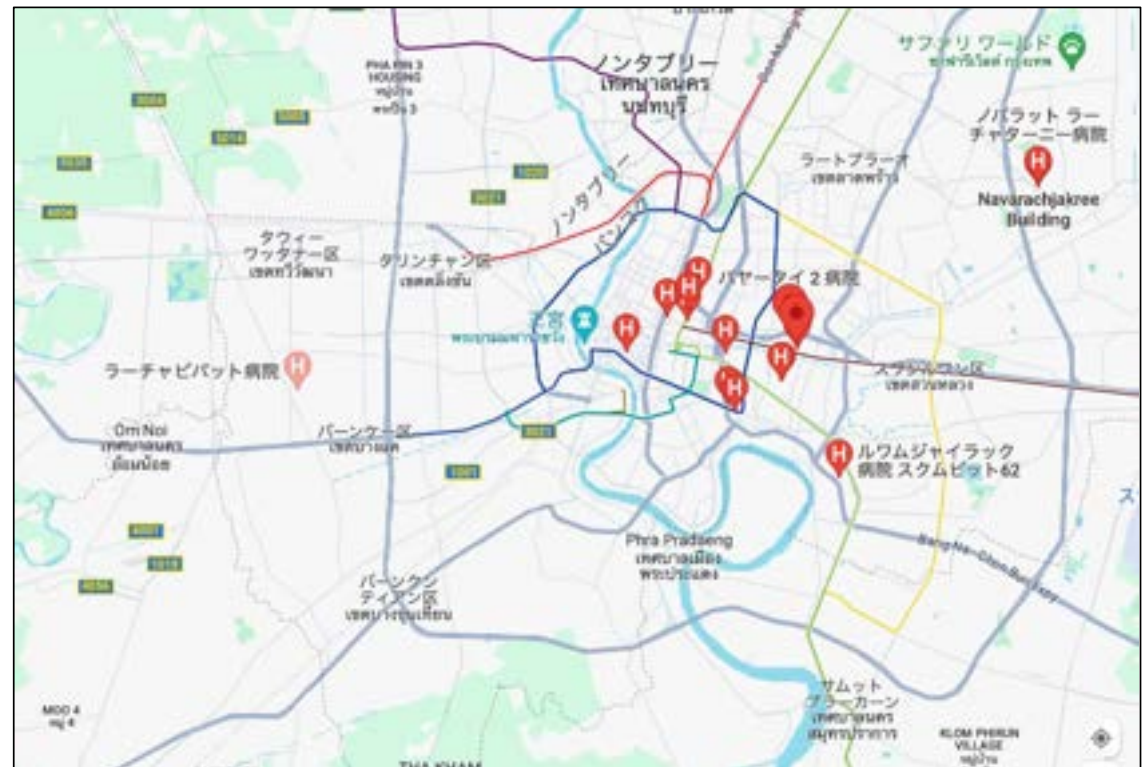
- 公立病院での医療と私立病院での医療の差異
- 都市部クリニック(診療所)での医療の実際
- 農村部などでの医療の実際
- 低所得者への医療の実際
- ワクチン接種制度
- 結核診療の実際
- 大規模病院での感染対策, 小規模病院での感染対策
- 病院レベルでの耐性菌対策の実際
- 抗菌薬適正使用活動の実際
- デング熱・マラリアなどの熱帯感染症の実際
- HIV診療について, 社会制度や高リスク職者を対象としたスクリーニングなどについて
- 高齢者施設, 介護施設などの見学等を実施。

「大学院生を対象とした、国際保健・輸入感染症実践トレーニング」スケジュール
2024/2/18～2/22(打ち合わせ)
2024/3/10～14(大学院生を伴う研修)

	スケジュール
0日目	夕方の便で関西空港発～夜にバンコク到着
1日目	午前 Ratchaphipat Hospital(バンコク都の病院)
	午後 Bangplama Hospital(スパンブリ県にある国立病院)
2日目	午前 Nongkho Health Promotion Hospital(チョンブリ県にある国立保健所)
	午後 Laemchabang Hospital(チョンブリ県にある国立病院)
3日目	午前 Samitivej Hospital(チョンブリ県にある私立病院)
	夜 バンコク発
4日目	朝に関西空港着

第1日目午前

Ratchaphipat Hospital (バンコク都の病院)



第1日目午前 Ratchaphipat Hospital (バンコク都の病院)

2024/2/19



医学研究科
掛屋 弘

経済学研究科
金子勝規

医学研究科
柴多 渉

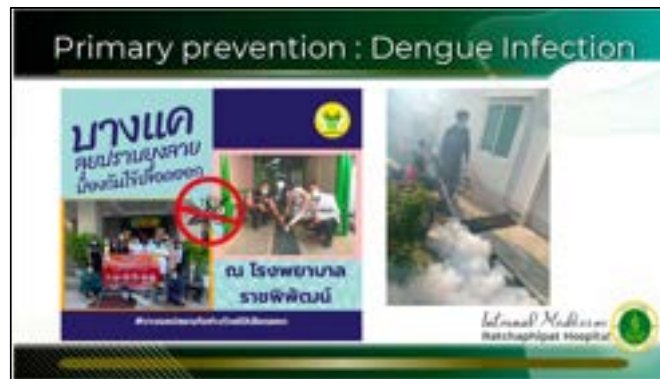
看護学研究科
喜田雅彦



- 内科医師、医療スタッフに歓迎いただき、ました。タイの方々の優しさに触れ、感激。



第1日目午前 Ratchaphipat Hospital (バンコク都の病院)



2024/2/19

Ratchaphipat病院で取り組まれている感染対策の紹介



第1日目午前 Ratchaphipat Hospital (バンコク都の病院)

- 内科医師、医療スタッフにタイの医療制度(国民皆保険Universal coverage: UCS)と感染対策(ワクチン接種、結核対策、HIV診療、抗菌薬適正使用活動、院内感染対策、熱帯感染症(デング熱等))について講義をいただき、討論しました。その後に院内を案内いただきました。タイでは、医療スタッフ(医師・看護師)の人数に限られる課題を抱え、その不足を補うための健康相談やボランティア精度が充実している実情が分かりました。

2024/2/19



救急対応を行うバイクは
交通渋滞にも対応可。



救急出動の管理室



病院敷地内にある健康相談所



日本の保健医療制度、院内感染対策の紹介

Osaka International Research Center for Infectious Diseases (OIROD)
International and Interdisciplinary Infectious Disease Training Program (IIDTP)

Japanese healthcare and
infection control in OMU

การรักษายาบาลในประเทศญี่ปุ่น
การควบคุมโรคติดเชื้อที่ OMU



Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine
Department of Infection Control Science
Osaka Metropolitan University Hospital
Department of Infectious Disease Medicine
Department of Infection Control
Osaka International Research Center for Infectious Diseases (OIROD)

Jr. Associate Professor Wataru Shibata, M.D., Ph.D.
shibata.wataru@med.osaka-u.ac.jp

Universal health insurance system in Japan

Universal health insurance system (ประกันสุขภาพถ้วนหน้า)
In Japan in the 1950s, one-third of the population was not covered by public insurance. The universal health insurance system was completed in 1961.

	Number of people	Insured person
Health/Health insurance Association Managed health insurance	25 million people	Small to medium-sized enterprises employees and their family
Society-managed health insurance	17 million people	Medium to large companies employees and their family
Mutual Aid Association	29 million people	Civil servant, private school teacher and their family
Advanced Elderly Medical Service System	9 million people	People over 75 years old and people over 65 years old with certain disabilities
National health insurance	16 million people	All residents of Japan who are not enrolled in other public medical insurance systems

About half of the insurance premiums are paid by the employer.

Japanese citizens are enrolled in one of the public insurance systems.
พลเมืองญี่ปุ่นได้ลงทะเบียนกับระบบประกันสุขภาพสาธารณะประเภทหนึ่ง

Universal health insurance system in Japan



Insured person: Infant ~5 years old, 6~69 yrs, 70~74 yrs, 75+ yrs

Pay only part of medical expenses: 20%

Medical institution: สถาบันการแพทย์

Public insurer: ผู้ประกันตน

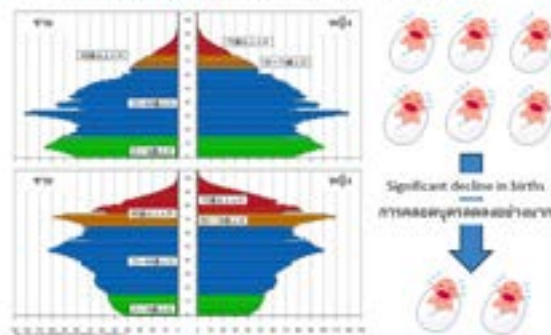
Insurance claims: 70~90%

Taxes and insurance premiums: 10%

ภาษีและเบี้ยประกันภัย

Patients pay a portion of the actual medical costs.
คนไข้ชำระค่ารักษาพยาบาลส่วนหนึ่ง

Problems in Japan's medical system



Significant decline in birth rate
การลดลงอย่างมีนัยสำคัญ

The demographic balance has been greatly disrupted due to the declining birthrate and aging population.

Infection control in OMU

การควบคุมโรคติดเชื้อที่ OMU



UV-C irradiation equipment

Handshake stewardship

Multiplex PCR system

Antimicrobial Stewardship Team Conference

Evaluation of cases receiving broad-spectrum or long-term antibiotics

Handshake stewardship



- Continue antibiotics, dosage adjustment
- Change antibiotics (addition or escalation or de-escalation)
- Add clinical examination
- Consult with primary doctor and decide on a treatment plan
- Not intervention/Guidance, but Support.

Emphasis on face-to-face communication
เน้นการสื่อสารแบบเห็นหน้ากัน

3月の訪問時には各施設にて柴多医師より日本の医療の実情や保健医療制度、院内感染対策等についてプレゼンを行い、情報交換を行いました。

第1日目午前 Ratchaphipat Hospital (バンコク都の病院)

2024/03/11



3月には医学研究科の大学院生である覺野医師および経済学研究科の大学院生である陳さんに参加いただき、研修を行いました。

第1日目午後 Bangplama Hospital (スパンブリ県にある国立病院)



第1日目午後 Bangplama Hospital (スパンブリ県にある国立病院)

- 内科医師、医療スタッフよりタイの郡部における結核やHIV診療の状況を説明いただきました。

2024/02/19



2024/02/19



2024/03/11



第1日目午後 Bangplama Hospital(スパンブリ県にある国立病院)

2024/03/11



当院の一般外来やHIV外来を見学させていただきました。

第1日目午後 Bangplama Hospital (スパンブリ県にある国立病院)

2024.03.11



結核の外来診療は、戸外で行われていました。この部屋は陽圧室 (Positive pressure room) です。医師はこの陽圧室の中に入って、戸外に待っている結核患者の話を聞きます。陽圧ですので中にいる医師の感染リスクを軽減することができます。新型コロナウイルスのパンデミック時には、PCRの検体採取に利用していたとのこと。戸外で診察は、コロナパンデミック時に我が国でも行われていた感染対策の基本ですね。

第1日目午後 Bangplama Hospital (スパンブリ県にある国立病院)

2024.03.11

ในวันที่ 11 มีนาคม 2567 เวลา 14.00 น. โรงพยาบาลบ้านปลาดาว นำโดย นายแพทย์กิตติพงษ์ อุดงสุวรรณ ผู้อำนวยการโรงพยาบาลบ้านปลาดาว ให้การต้อนรับ คณะแพทย์และอาจารย์จาก Osaka Metropolitan University ประเทศญี่ปุ่น ได้มาศึกษาฐานที่เกี่ยวกับโรควัณโรค โรคเอดส์ การป้องกันการติดเชื้อฉวยโอกาส และการใช้ยาปฏิชีวนะ ซึ่งทางคณะผู้มาเยือนได้ร่วมแลกเปลี่ยนเรียนรู้ กับทางโรงพยาบาล เกี่ยวกับข้อมูลทางการแพทย์และประเทศไทยอีกด้วย

Powered by Aisling Media Solution

080-8834349 โรงพยาบาลบ้านปลาดาว <http://www.bangplamahospital.com>

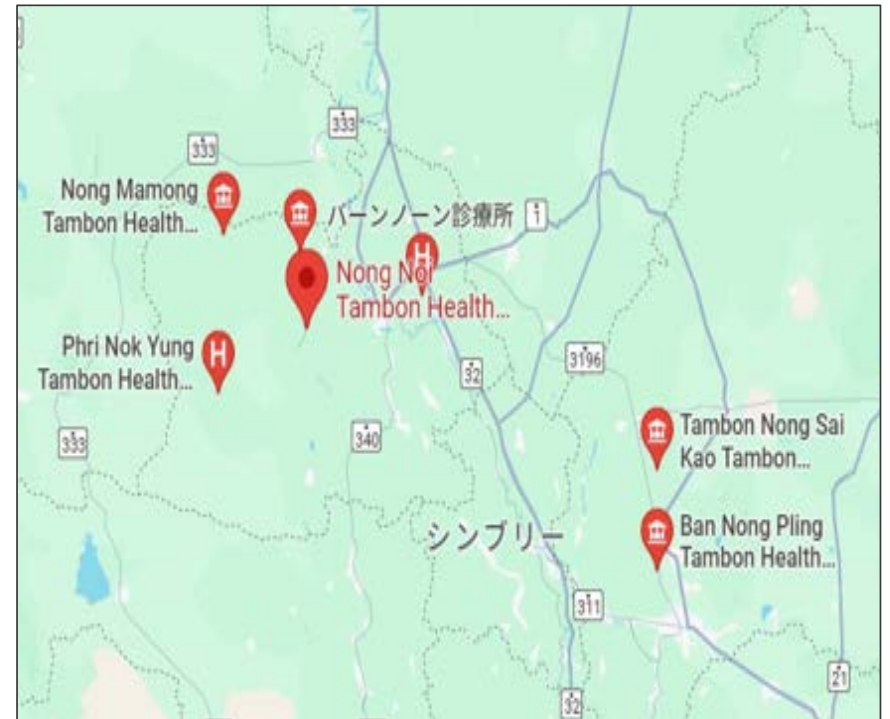


病院長先生(中央)やお世話になったスタッフの皆さんとの記念撮影。翌日の地元新聞に大阪公立大学病院の訪問のことが掲載されたとのこと。ありがとうございました。

第2日目午前

Nongkho Health Promotion Hospital (チョンブリ県にある国立保健所)

2024/02/20



お天気でしたので患者さんは戸外で診療を待っていました

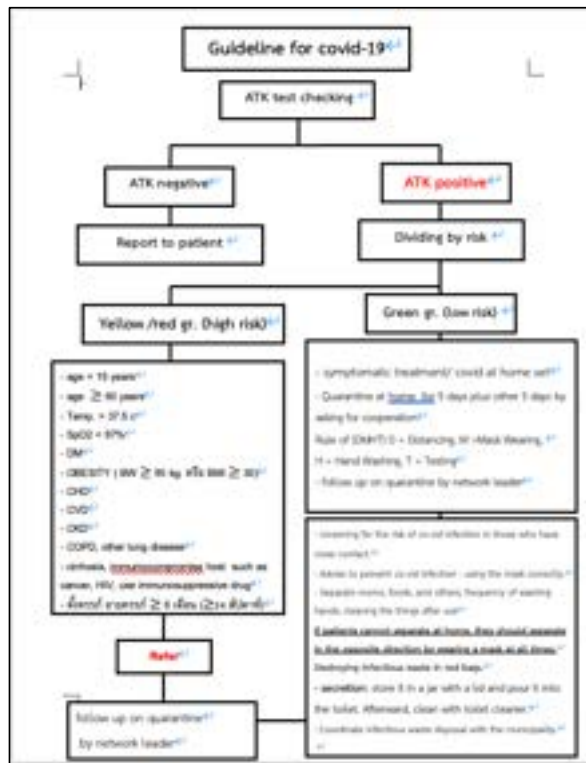
第2日目午前 Nongkho Health Promotion Hospital (チョンブリ県にある国立保健所)

- タイの医療保険制度、結核対策、デング熱診療、コロナ診療等について説明をいただきました。また、当日は、経済学研究科教授 金子勝規先生の奥様が勤務されていて、ご案内を頂きました。

2024.03.12



第2日目午前 Nongkho Health Promotion Hospital (チョンブリ県にある国立保健所)



新型コロナウイルス感染症の診療方針



デング熱の診療方針

当診療所における結核やデング熱、新型コロナウイルス感染症、手足口病等の診療方針や上位病院への搬送の基準、地域の健康増進における役割等について説明をいただきました。

第2日目午前 Nongkho Health Promotion Hospital (チョンブリ県にある国立保健所)

2024.03.12



当診療所で処方される薬剤は、主にプライマリケアの薬剤(解熱鎮痛薬等)が主。新型コロナウイルス感染症治療薬(抗ウイルス薬)等は、配置されていませんでした。



救急対応室



職業柄(感染制御医)として気になるカートの上。まだ湿布缶がおいてある。



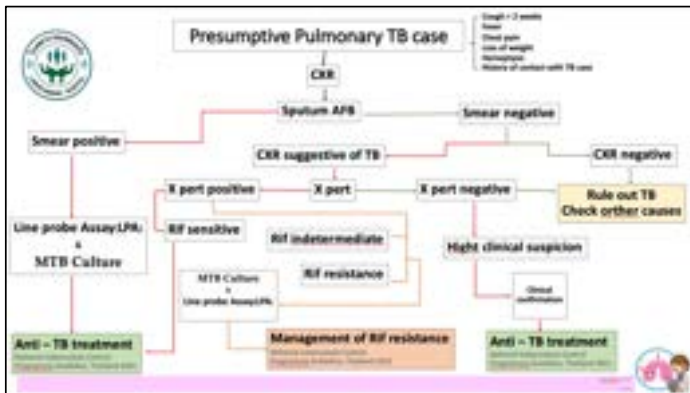
リキャップに関するディスカッションをしました。日本では基本的にリキャップは禁止ですが、すくい上げ法で行うとのこと。

第2日目午後

Laemchabang Hospital (チョンブリ県にある国立病院)



第2日目午後 Laemchabang Hospital (チョンブリ県にある国立病院)



Our Geriatric clinic

- First date of service 14 March 2022 (Case demonstration and staff training)
- Services: 1 day per month (every second tuesday of each month)

IC personnel		
ICN fulltime • 1 ICN + 1 Part time ICN (1 Dec. 2022-31 Aug. 2023) • 2 ICN (1 Sept. 2023 present) • ICN and CSDO management	ICWN Total 12 people	Head of ward Total 11 people
Qualifications IC master's degree (1) IC specialized (4 month) (1)	Qualifications IC training (2 weeks) (30.3%)	Qualifications IC training (2 weeks) (38.4%)
duty • Coordinate processes • Monitoring • Education training • consultant • surveillance survey	duty • HA surveillance • IPC measure • Ward consultant	duty • IC supervisor

There is a 100% compliance IC training plan to ICWN (supervisor)



Our services

- Lab and CXR check up Once a year
- Free Covid-19 vaccine, Influenza vaccine, dT vaccine, and advice for other specified vaccine for elderly such as Zoster, Pneumococcal, Hepatitis B, Rabies...
- Comprehensive geriatric assessment
- Specific patient care plan by multidisciplinary team
- Refer to secondary and tertiary care as appropriate
- Refer to primary care unit for home visit

地域における当院の役割や結核対策、工場に関わる産業医学、高齢者診療等をレクチャーをいただきました

第2日目午後 Laemchabang Hospital (チョンブリ県にある国立病院)



病院長先生に病棟を案内いただき、タイの入院診療の実際を見せていただきました。大部屋の窓は開放され、オープンエア……。廊下にも入院患者のベッドが置かれていました。

第2日目午後

Laemchabang Hospital (チョンブリ県にある国立病院)



結核等の空気感染対策が必要な病室



空気感染対策の掲示



病室前の個人防護具

第2日目午後 Laemchabang Hospital (チョンブリ県にある国立病院)

蚊の環境対策



デング熱対策



デング熱やマラリア対策としての蚊の環境対策やその疾患啓発ポスター

第2日目午後 Laemchabang Hospital (チョンブリ県にある国立病院)



病院長先生をはじめ、多くの先生方・スタッフの皆様に変にお世話になりました。ありがとうございました。

第3日目午前 Samitivej Hospital (チョンブリ県にある私立病院)



第3日目午前 Samitivej Hospital (チョンブリ県にある私立病院)



当院は私立病院で、日本人対象の病棟がありました。
清潔感にあふれ、日本語対応がされていました。

第3日目午前 Samitivej Hospital (チョンブリ県にある私立病院)



全室個室、オーシャンビューです。旅行者下痢症等で日本人旅行者の入院もあるとのこと。外来も清潔感あふれる診療室で、空気清浄機も配置されていました。

第3日目午前 Samitivej Hospital (チョンブリ県にある私立病院)

2024.03.13

当院の感染対策は、
我が国と同様な対策が、
実施されていました。



使い捨てタオル



感染対策毎のごみの分別

第3日目午前 Samitivej Hospital (チョンブリ県にある私立病院)

2024.02.21



2024.03.13



大変素敵な私立病院でした。日本と同レベルの医療環境と感染対策が行われていました。皆様の歓迎に感謝申し上げます。

最後に



タイの医療スタッフの皆様が、大変優しく私達の研修を受け入れていただきましたことを心から感謝申し上げます。また、この度、各施設の研修に関して、交渉を行っていただいた経済学研究科教授の金子勝規先生、そして現地でお仕事をされている医師の奥様に感謝申し上げます。ありがとうございました。今回参加してくれた二人の大学院生のみならず、私達も異なる保険制度や医療環境における実際を見せていただき大変勉強になりました。日本の感染対策の良い点もタイの病院に紹介をしていきたいと思っております。次回もよろしくお願ひ申し上げます。